

姉妹との まぐわい

Shimai tono Maguwai

1

祠に隠された秘密

R18
ADULT ONLY

モゲラーノ

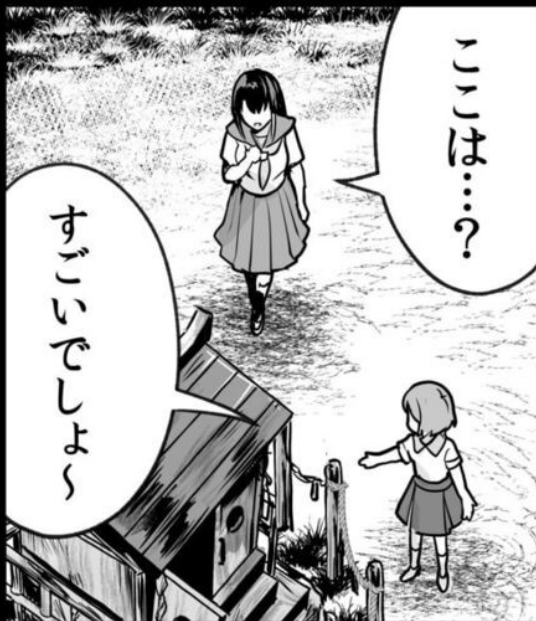
MOGELANO

アシオナ
NEXT





祠ほら…?
封印されてる…



すごいでしょう

こっちは…?



おねーちゃん
こっち!



え?



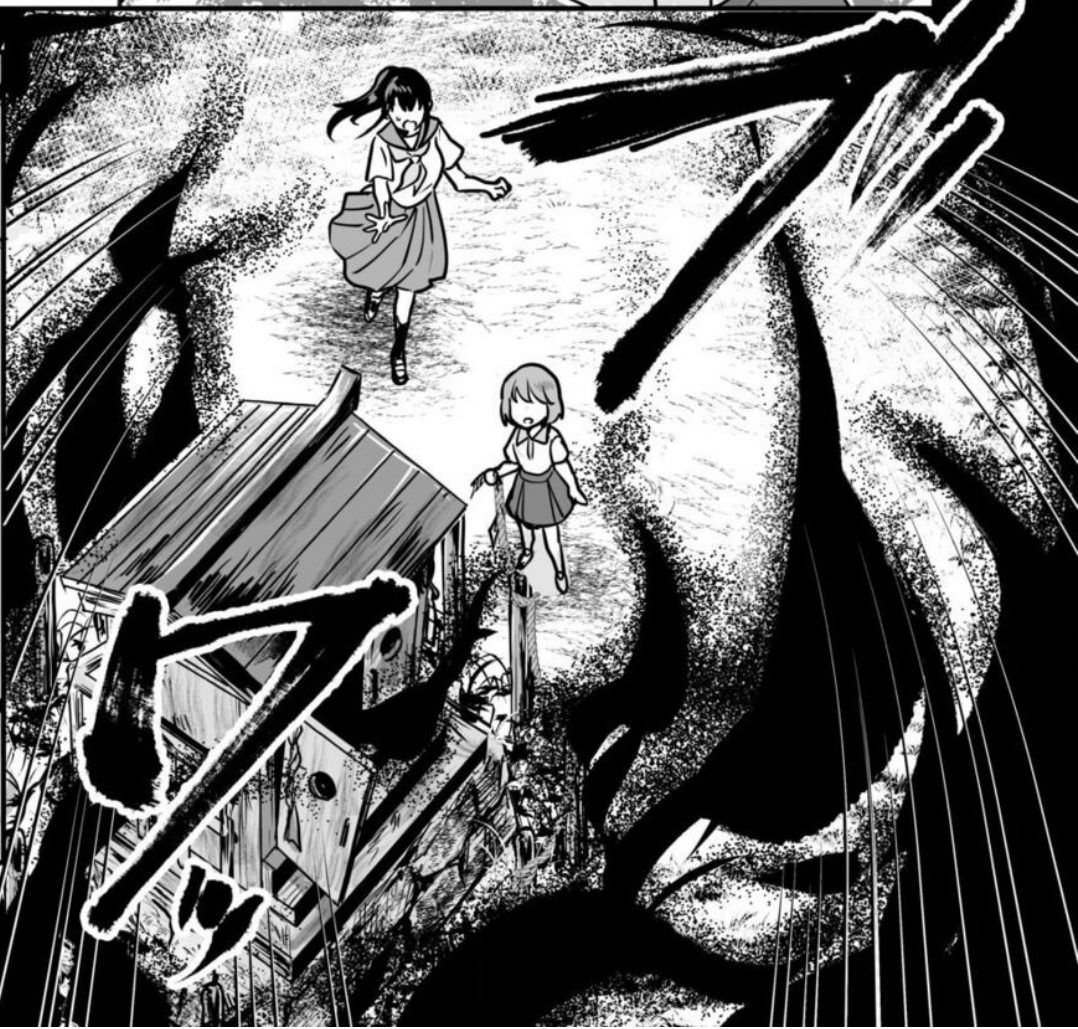
中はどう
なってるんだろ

あっ菜月なつき!

ム…



あ…





蒼ちゃんっ

そっっっっっ

奥♡
もっとな
してえっ



んっ

あっ

あっ

んっ

あっ



んっ

あっ



菜月…ッ





蒼ちゃん…
きもちよかった♡



彼女は
はたの
秦野 菜月

俺の幼馴染で

恋人だ

俺は中学まで
この島で
育ったが

親の転勤を機に
島を離れた



それから8年—







それにしても
ホント久しぶり
だよね

蒼ちゃん
急に引越し
ちゃうんだもん



蒼ちゃん
あんまり
変わってないね

へへ、



親の仕事の都合
だったからな…
仕方ないだろ



菜月もな

そこは綺麗に
なったとか
言うところだよ

女心がわかって
ないなあ…

もくもく




ねえ

たまにはわたしのこと
思いだしてくれただけ？



菜月…



わたしは
蒼ちゃんが
いなくなつてから…
寂しかったよ

それから
教育実習の
期間が終わるまで

放課後は
菜月と一緒に
色々なことを話した

空白の8年間に
埋めるように

そういえば
姉さん…

真尋^{まひろ}は
どうしてる？

大学の先輩でさ

キャンパスで
偶然会ったときは
びっくりしたな

うん…
姉さんから聞いた

姉さんは
卒業してから
島に帰ってきて

実家の神社で
巫女やってる



そして俺が
教育実習を終え
島から帰る前日



蒼ちゃんってば!



なんか8年前
みたいだな

あのときの菜月
めちやくちや
泣いてさ



港まで
見送りに行くね



もう...



蒼ちゃん...

あのを

わたし
あの頃から

菜月…

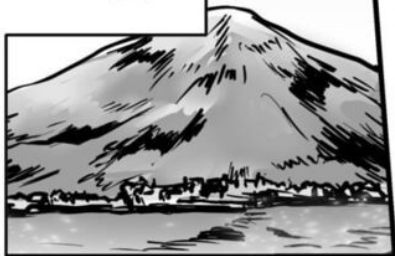
俺も

菜月の
ことが…

蒼ちゃんが好き

それから2ヶ月後
大学が夏休み
になった俺は

卒論の調査もあり
この島に戻ってきて





飲み物
取ってくるから
ちよつと待ってて

ありがとう



そついえば
あれ以来

真尋については
聞けていない



こうして菜月と
毎日のように
セックスしている



じゃあ
また明日

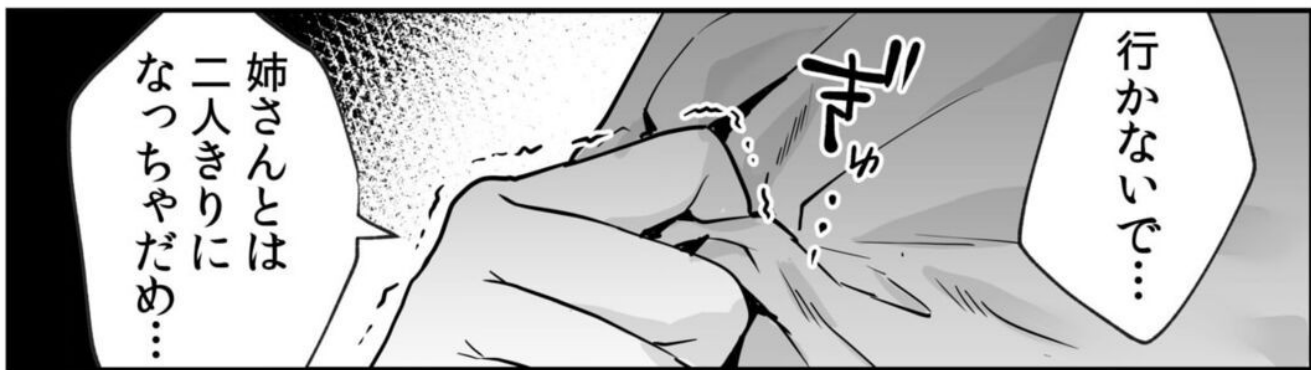
うん



菜月は島に
帰っていると
言っていたし

この家に
いるんだろうが...







えっ…

真尋…!?



アジコ



カリカリ

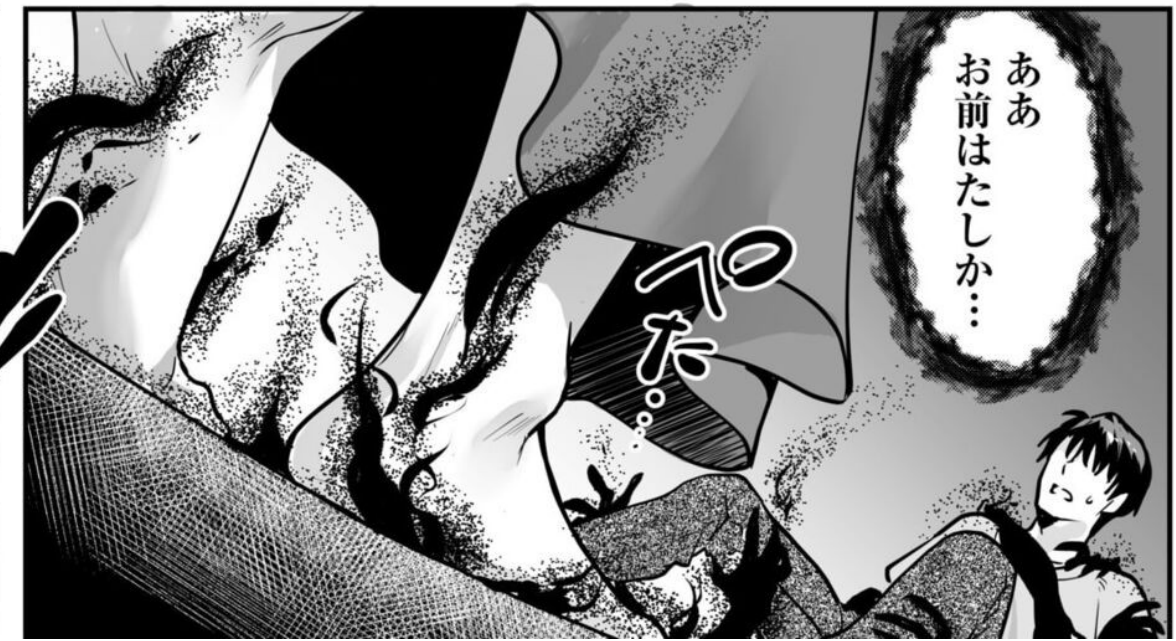


…



真尋… どうしたんだ?

なあ菜月と なにかあったのか? 昔はあんなに 仲が良かった のに…







男根が
膨れ上がって
きておるわ

子種汁を
だすがいい

っ…搾り取られる…ッ

だめだっ
もう…っ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ



蒼ちゃん？

キ



あれ…
開いてる？

カチカチ



うわ...
うわ...

うわ...
うわ...



蒼...ちゃん...?





姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(1)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

- ★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
 - ★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
-

姉妹との まぐわい

Shimai tono Maguwai

2

祠に隠された秘密

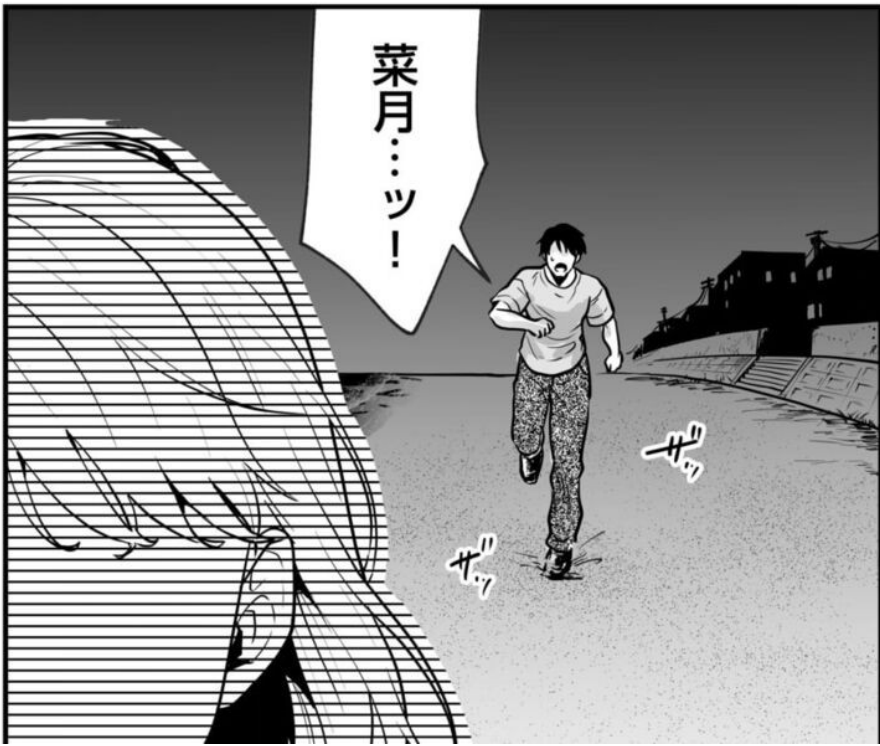
R18
ADULT ONLY

モゲラーノ

MOGELANO

アシオナ
NEXT







蒼ちゃんに
聞いて欲しいことが
あるの



もう
めちやくちや
混乱してて

超シヨック
だけど…



なんだか様子が
おかしくて…



姉さん
大学卒業して
こつち帰って
きてからさ

うん



心ここにあらず
つていう感じで



巫女の仕事は
しているみたい
なんだけど



少しボーっと
してる
つていうか…



姉さんって
内気だけど

もつと優しく
明るかったでしょ？



そういえば
あの時も…



それに…
実は姉さん



そっだ
俺の記憶の中の
真尋もそんな感じだ



いろんな
男の人と
そういう関係…
だったりする
みたいで…



…何度か
見たことあるの



え…



姉さんが
家の裏の森とかに
男の人と
消えていったり

明らかに
事後っぽい感じで
でてくるの…



だからさっきの
蒼ちゃんと
姉さんのことも

もしかしたら
なにか理由が
あるのかなって…



は…？



さつき変な
モヤツとしたやつに
身体を掴まれて…



そういえば…



え
なにそれ…

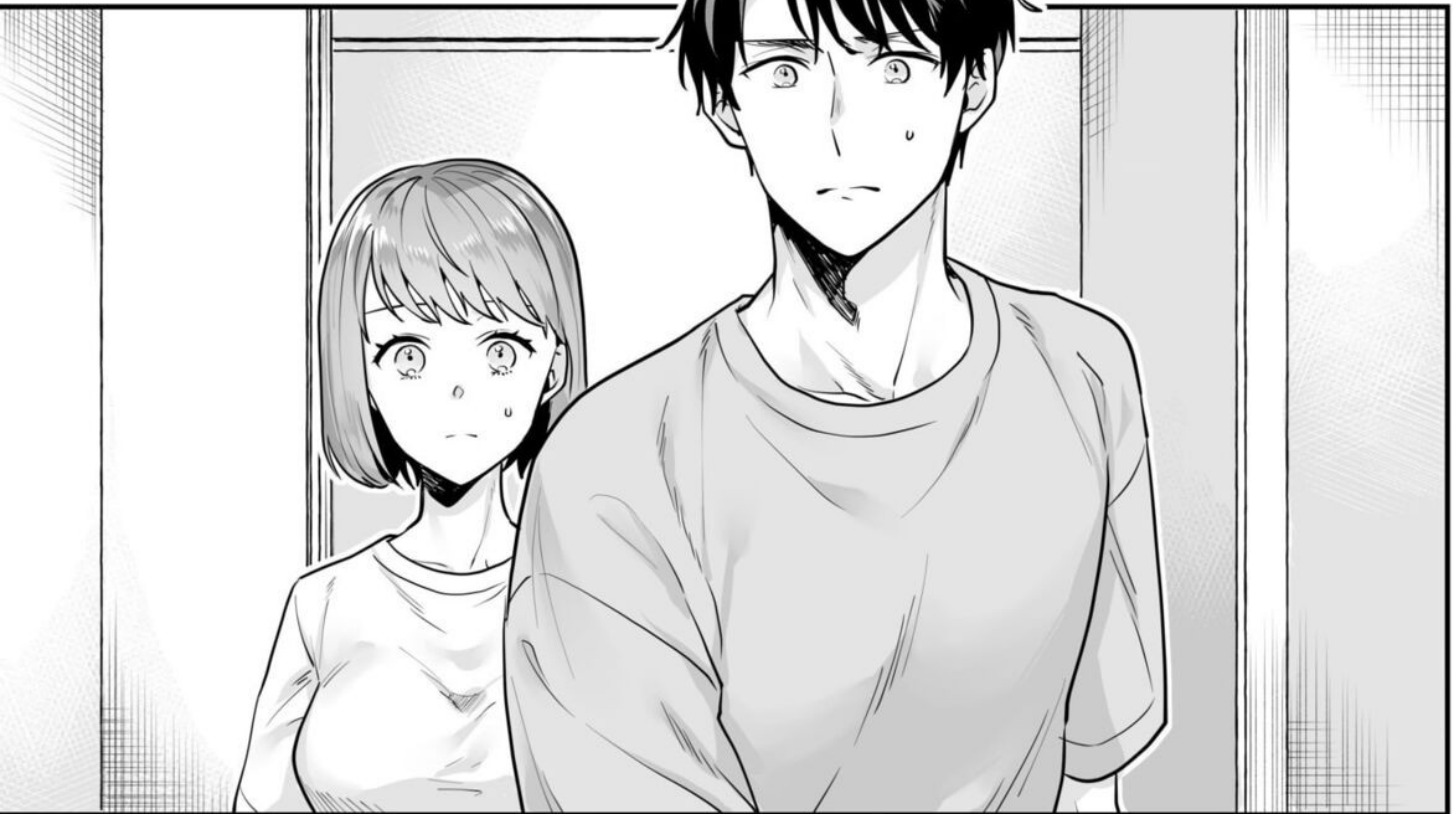
…



すごい力で…



真尋 口調とかも
おかしかつたし…





良いモノを
持っておるな

初めて
なのか？

はっ
はっ
はっ

スッ
スッ
スッ

はっ
はっ
はっ

スッ

スッ

スッ



見えるか？

それは
勿体ないのう

お主の男根が
ずっぽりと
入っておるぞ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ





ほれ
自分で
動いてみせよ

お前の子種も
良さそうだ

お前の子種も
良さそうだ

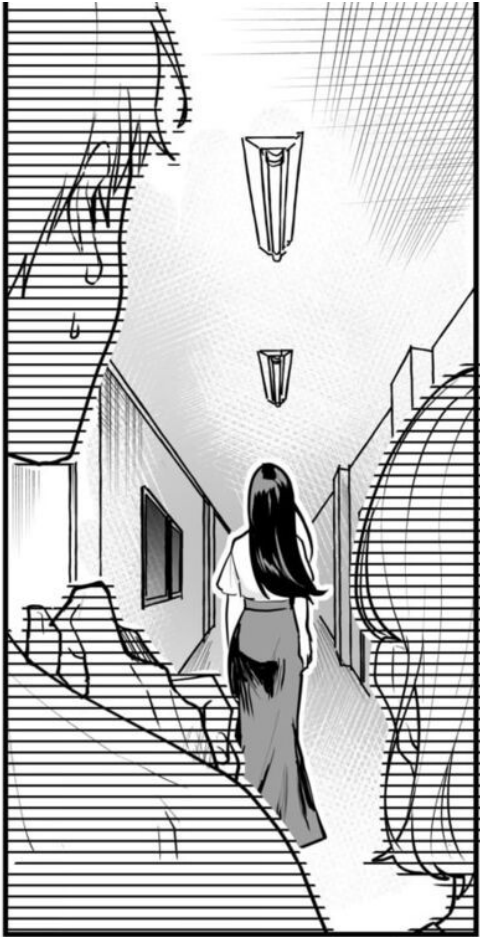
お前の子種も
良さそうだ

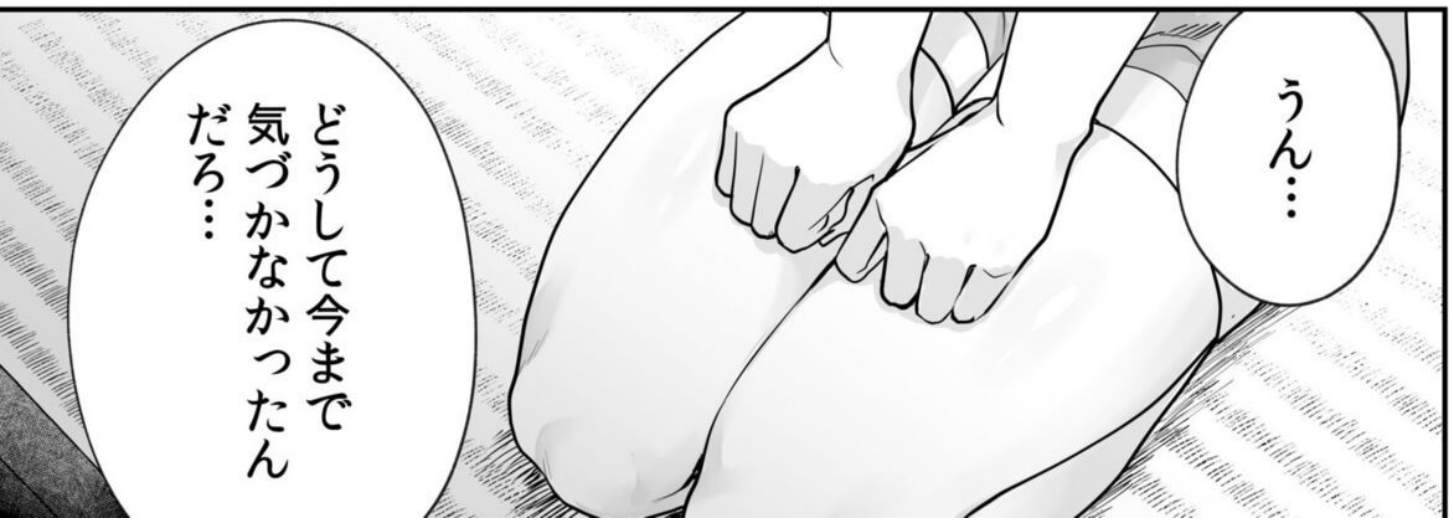
お前の子種も
良さそうだ

お前の子種も
良さそうだ











あんなの…

姉さんじゃ
ない…



霊的なものの
悪さじゃないかと
思ってる



ああ
もしかすると
この島の
なにか…



霊…？





え…祠…？



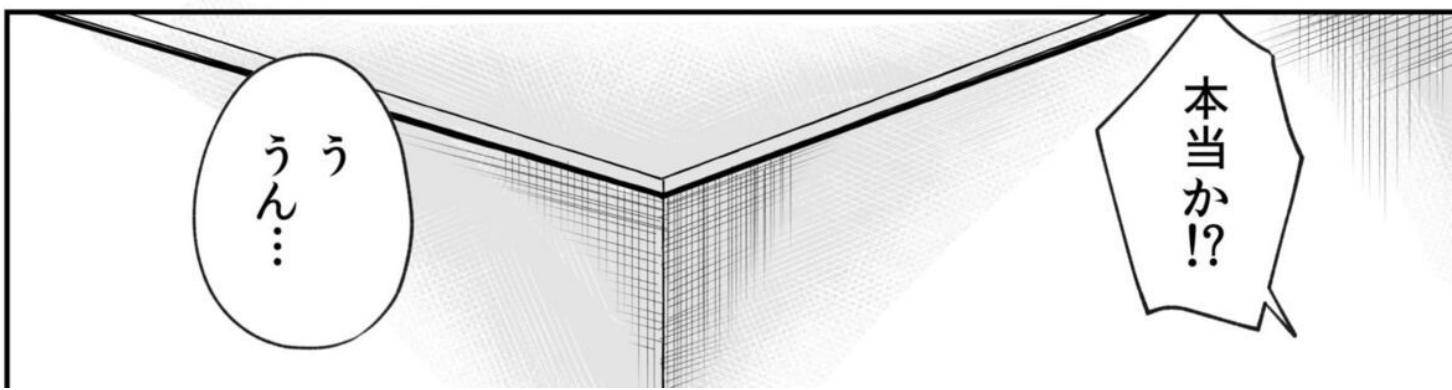
菜月！
卒論研究で
調べただけど

こちら辺に
祠ってあったり
しないか？



あそくらいえば
すごい昔…
10年くらい前かな？

私が裏山で見つけた
古い祠に姉さんを
連れて行ったことが
あったな…



本当か!?

うん…

だいぶ
朽ちてたけど…

別になにも
なかったと
思うよ

…

嫌な感じが
する…

そう？

そういう古いものが
実はヤバかったり
するんだよ

明日その祠に
連れて行って
くれないか

うん
いいけど…



うん…



大丈夫だよ
真尋は
元に戻るさ



古の祠…

もしかすると
真尋がああなうて
しまったんか

ヒントが
あるかもしれない



姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(2)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

- ★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
 - ★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
-

姉妹との まぐわい

Shimai tono Maguwai

3

祠に隠された秘密

R18
ADULT ONLY

モゲラーノ

MOGELANO

アシオナ NEXT





結構
歩いたな…

さすがに
長くないかこれ…

ね…



はあ〜…



こんな
遠いところ
だったつけ…



小さい頃の菜月なつきは
なんでこんな
ところに来たんだか

もお
わたしも
覚えてないの！



それにもしても...

なんだか薄気味悪い場所だな...



.....?
.....?

なんか... 本当に気持ち悪...



蒼ちゃん...?

...っ



うん... 変な感じ...

きもちわるい...

ふっ



なんだ…これ…

まひろ
真尋？



蒼ちゃん！

蒼ちゃ…

ぐっ…





久しぶりね

そうた
蒼汰くん



カラシ

まさか同じ
大学だなんて
驚いたわ



真尋は
今年卒業だよな？
島に戻るのか？



いち
に
さん...

蒼汰くんが
転校したのって
えーと...6年前？



俺ももう
ハタチだからね

すっかり身長も
追い越され
ちゃったわね



島に戻って
巫女をする予定よ

そっか
菜月は元気か？

うん

帰省の時しか
会わないけど
元気にしてるよ



久しぶりに
再会した俺たちは
思い出話を
たくさんした



おつかい
さんぽー



あつごめん
そろそろ
バイトの時間だ



久々に話せて
楽しかった！

バイト
頑張っつね

ありがとう
また話そう！



うん
またね



真尋とは
それからたまに
会うようになった

まるで昔に戻った
かのようだったが



すっかり
大人の女性に
なった真尋は

そして
年があけて
2月――

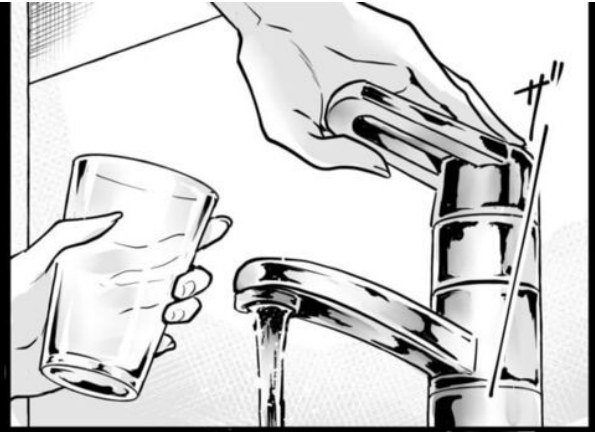
とても
綺麗だった



たにおか
谷岡
こっちこっち！









蒼汰くん…っ

ごめんなさい

まひろ…っ？

わたしっ…

アッ…







蒼汰くんも
気持ちよくなつて...

ね?

オオオ...

蒼汰...くうんっ♡



あつだめっ

いんのっ♡

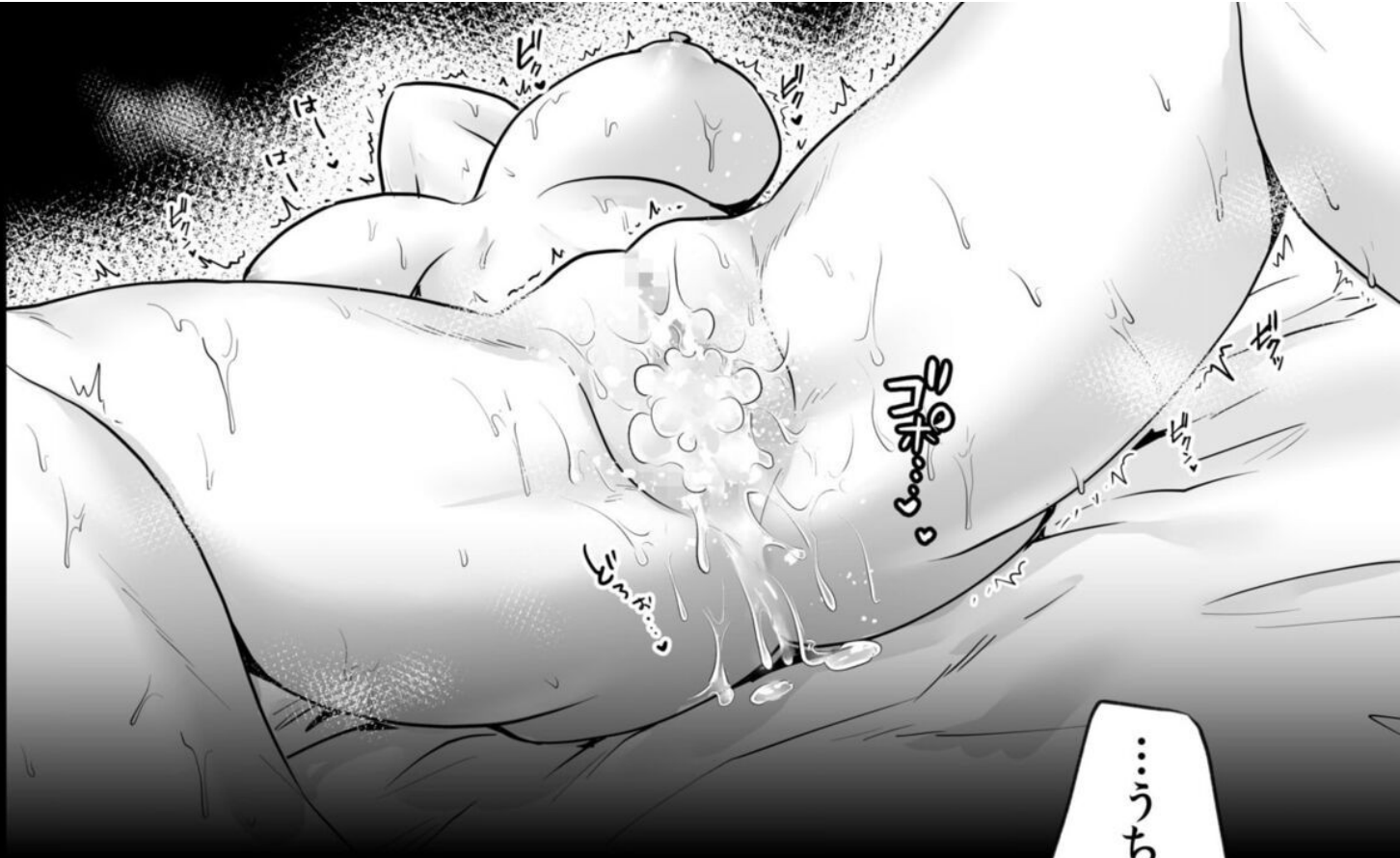
あつだめっ
いんのっ♡



だだめ
おま●こから
蒼汰くんのせーえき
でてるからあ...っ

みないで...っ

みないで...っ



…うちちゃん!



しゅわめめめめ!!



あ…?



蒼ちゃん!!





…大丈夫だ



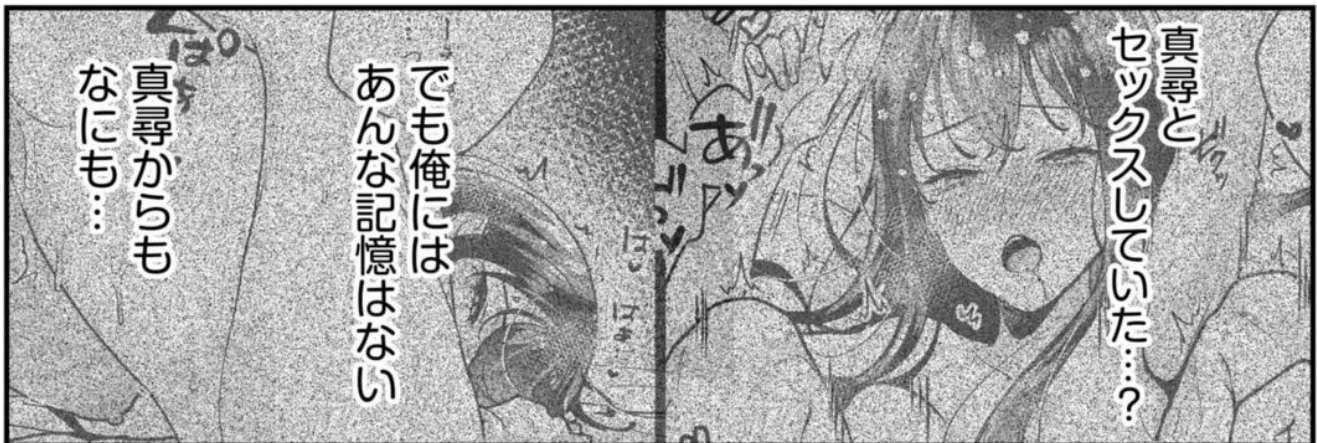
悪い



それに…

なんで今…？

さっきのは
2年前の
真尋との記憶…？



真尋と
セックスしていた…？

でも俺には
あんな記憶はない

真尋からも
なにも…



あの日は
送別会のあと

一人で帰って…
あれ…?



いや…もし
本当にそうなら
ただの言い訳だな…

思い出して
真尋に謝らないと…



蒼ちゃん…っ

大丈夫…
先に進もう
菜月



…ッ



もうすぐだよ



これが…

例の祠…





姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(3)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

- ★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
 - ★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
-

Shimai tono
Maguwai

姉妹との

ふぐわい

4

成年
コミック

祠に隠された秘密

モゲラーノ

MOGELANO

アシオナ
NEXT





ずいぶん
朽ちてるな…



これが…
例の祠…



封印も
切れてる…



菜月!?

…っ



なあ菜月^{なつき}

この封印
なんだけど…



う…

菜月!
どうした?

か…



身体が…

なんか熱くて…ッ

蒼ちゃん…



ワウッ



身体が
動かな…くてっ

でも…ッ



悪い菜月
もう帰ろう





どうして...っ？
おうひて...っ？

おひ...



菜月...っ



うっ



ふおめんふえ...っ



な菜月

もうダメだ…っ

これ以上は…っ

はあ…っ





えっ…嘘

まさか…っ

ハキキ

だだめえ…っ

ゆるん♡

菜月…っ
気をしっかり…

ズン

フク…っ

お！
ゆるん♡



そんなこと言っても
身体が…っ

ゆるん♡
ゆるん♡
ゆるん♡





菜月…っ

蒼ちゃん…っ



いめんっ

いめんっ



こんなのっ
よくわかんなくて
怖いのに…っ

いめんね…っ

わたしも…っ





菜月……っ



菜月！



はち



ふう…

ようやく身体を
借りれたのう



え…



よかった…

おっ…



お前まさか…っ！

昨晚ぶりだな

まあそんなに
長くも居られない
だろうが



ああ我が
まひろ
真尋の身体を
借りておる

真尋は
どうしたんだ



お主は
我に会いに
来たのであろう？

家で寝ておる





お前が
すべての原因
なんだな

真尋の身体を使って
なにがしたいんだ…!



ふむ
なぜか…
といえば

この娘が
祠の封印を
破ったからだ



記憶を消すことなど
造作もない

我はな
この娘たちを使って



え…?!

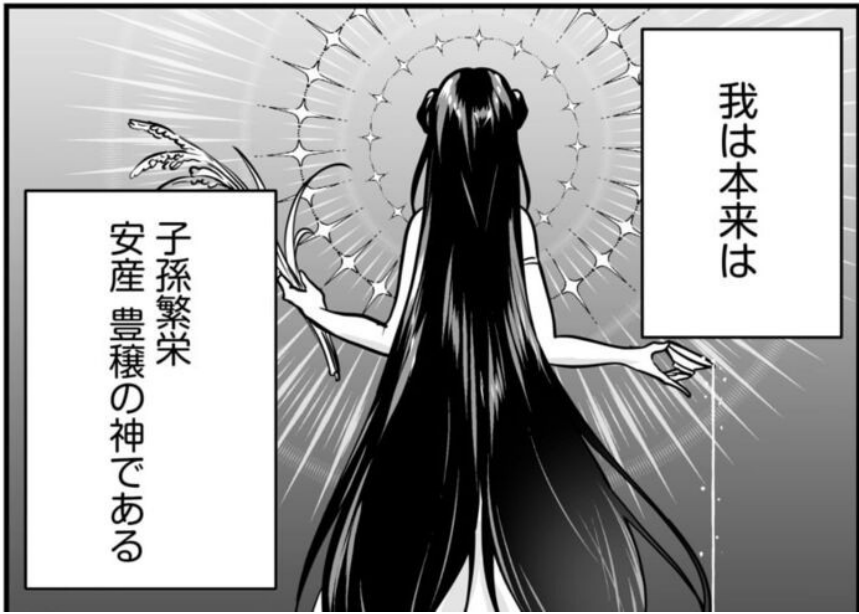
菜月はなにも
なかったって…



私の神格を
取り戻したいのだ



神格…？



子孫繁栄
安産豊穡の神である

我は本来は



…昔話を
しようかの

島の者たちは
この祠を作り
長年我を尊び

また我も
この地に繁栄を
もたらしていた

しかし
三百年ほど前

島の外から来た者が
新しく社を建てて
からというもの

我のもとに
来る者は一人：

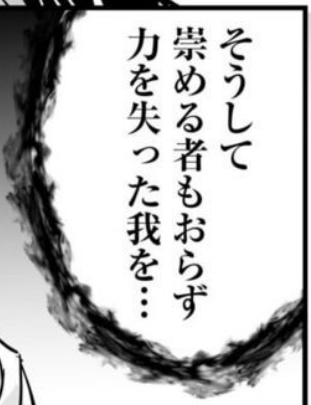
また一人と
減っていき

そうして
誰も来んように
なった：

我は忘れられて
しもうたのだ

そうして
崇める者もおらず
力を失った我を：

……



おおこの祠だな

早く封印して
しまえ

なんじゃ貴様ら！
なにをする！



ぐっ…！

例の神社の者が
祠ごと封印した



しかし月日は流れ
この娘が祠の封印を
破った

そんな…



その時
我は気がついて
しもつたのだ

この娘たちが
あの忌まわしき
神社の末裔だと

ゆえに我は
妹の方に神格を
取り戻すための

手伝いを
させようと思った

しかし
偶々その場に
居合わせた姉が

わたしが…
身代わりに
なります…!!

待ってください!



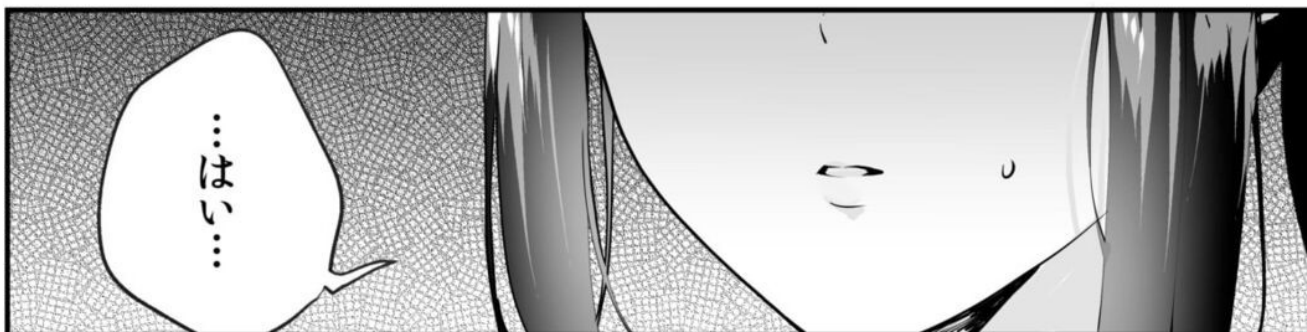
我は自らの
神格を取り戻す

必要なのは
男の子種じゃ

意味は…
わかっておろうな？



別にどちらでも
構わぬ

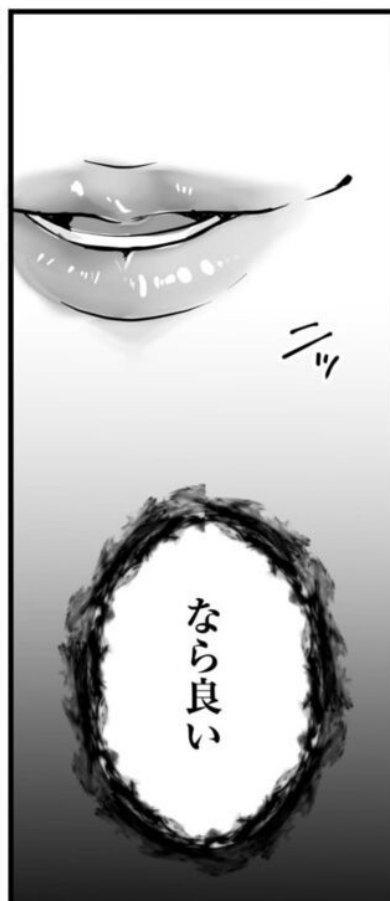


…はい…



あの…

妹のここでの
記憶を消すことは
できますか…？



なら良い



なんとも
健気なことよの



この子には…
なにも知らずに
いてほしいから…



しかしあの姉も
おとめの
当時は処女でな

処女の巫女は強い

長いこと身体の
支配権を許しては
くれなんだ



そこに現れたのが
お主だ



そうだ



…まさか



お主がさきほど
見た白昼夢は
現実じゃ



我があの娘を
唆したのだから

まあそう悲嘆に
暮れるでない



ああ：
俺はなんてことを…



今日を限りに
その男とは
会えぬのだろうか？



いい機会ではないか



そうた
蒼汰くん…



酒の勢いで
一度なら許されるぞ



そこからは
様々な男の子種を
吸収し

徐々に神格を
取り戻してきたが…

あと一歩…

あと一歩が
届かぬのだ





……どうして

俺に
そんなことを？

菜月の身体を
使ってまで……



お前の子種は
具合がとても
良かったゆえな



……一つ取引を
しようか

ああ……
思い出しても
力が湧くようだ

いま一度

我とまぐわえ

さすれば
真尋を開放して
やらんこともない

は…？



姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(4)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

- ★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
 - ★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
-